

平成20年度 近畿地区公立中学校修学旅行委員会事業 (案)

〔基本方針〕

修学旅行は最大の学校行事であり、学校教育の総仕上げとして生徒の人間形成上重要な影響を与えてきた我が国独自の伝統的教育行事である。

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、学習指導要領のねらいの一つである「自ら学び、自ら考える力」の育成と、修学旅行の三原則～安全性の確保・教育性の高揚・経済性の適正化～を目指して修学旅行のあり方を追求してきた。

今、子ども達の生活体験の不足、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下等に対応して、自然・歴史・文化とのふれあい、人々との幅広い交流、正しい勤労観・職業観の育成などをめざした感動ある修学旅行の実現が期待されている。本委員会は、長年の調査・研究活動で培ってきた成果を生かして、これからの修学旅行のあるべき姿を更に探求し学校に示していかなければならない。

そのことを踏まえながら、本年度『感動ある修学旅行の実現』をテーマとして研究することとした。

〔重点推進事業〕

研究活動の充実

1 第22回近畿地区中学校修学旅行研究大会 (発表当番府県 奈良県)

資料4

(1) 第23回近畿地区中学校修学旅行研究大会を成功させるために、各府県の中学校・関係機関の協力を得て、『感動ある修学旅行の実現』について研究する。

- ・ 開催日時 平成20年11月21日(金) 午後1時 ~ 4時10分
 - ・ 会場 生駒市コミュニティセンター
〒630 | - 0257 生駒市元町一丁目6番12号生駒セイセイビル内
0743 - 73 - 0500
 - ・ 研究テーマ 『感動ある修学旅行の実現』
 - ・ 発表校 奈良県高市郡高取町立高取中学校
 - ・ 講演 杉田 洋 氏〔文部科学省初等中等局教育課程課教科調査官〕
「修学旅行における体験学習の意義と実施上の留意点」(仮題)
- 日程
- ・ 1:00 ~ 1:10 開会挨拶 (来賓含む)
 - ・ 1:10 ~ 1:50 研究発表 (奈良県高市郡高取町立高取中学校)
 - ・ 1:50 ~ 2:40 研究協議
 - ・ 2:40 ~ 3:00 指導講評 (奈良県教育委員会)
 - ・ 3:00 ~ 3:10 休憩
 - ・ 3:10 ~ 3:45 講演 (杉田 洋 氏)
 - ・ 3:45 ~ 3:50 感謝状贈呈
 - ・ 3:50 ~ 4:00 閉会挨拶

(2) 研究大会の持ち方について

3年間研究大会の持ち方について検討してきたが、「平成19年度から3年間は1校の研究発表と講義または講演の方式を続ける。」その後は原則的には「2校発表に戻す。」こととしている。(平成18年2月17日の運営委員会で決定。)

平成21年度	発表 滋賀県	(会場 滋賀県)
	講演 (未定)	
平成22年度	発表 兵庫県	・ 大阪府 (会場 兵庫県)
平成23年度	発表 和歌山県	・ 奈良県 (会場 和歌山県)
平成24年度	発表 京都府	・ 滋賀県 (会場 京都府)

2 修学旅行実施状況調査

資料5

平成16年度までは近畿地区独自の調査を行ってきたが、17年度以降は従前から実施してきた近公修委独自の調査に加え全国調査の内容(全国は抽出・三地区は悉皆)も一部調査してきた。20年度も昨年と同様の調査を実施する。(全修協のHP「修学旅行ドットコム」に掲載しPRも進んできている)

3 修学旅行現地研修会

資料6

《実施する理由》

今子ども達は、生活体験が不足していて、人間関係や連帯感が希薄である。また、集団や社会の一員としての自覚や責任感が低下している等の様々な指摘がある。そのことを踏まえ中学校の修学旅行は生徒の成長を考え、生きる力を育てることを主とした体験学習を取り入れ、現在、80%以上の学校が実施するようになってきている。

本委員会も過去20回の現地研修会を行ってきたが、平成12年度からは体験学習の調査・開拓を中心とする研修に切り替えてきた。各学校では修学旅行の目的や生徒の実態に即した内容を開拓するために多くの関係者と努力されているが、学校独自の調査・研究には限度があるように思われる。

最近の本委員会の現地研修会で得た情報は各府県で報告され、おおきな情報発信となっており、教育性の高揚・経済性の適正化・安全性の確保をめざして本年度も現地研修会を実施する。

《目標》

これからの時代にふさわしい修学旅行先の研究・開拓(経済性の適正、安全性の確保)
教育性の高い体験学習の開拓。(教育性の高揚)

《研修先》

南九州方面

《時期》

平成20年8月20日(水)～21日(木) (1泊2日)

《目標参加人員》

各府県3名ずつ

《費用》

35,000円

集約輸送について(近修委)

修学旅行実施状況調査においても、ここ数年費用の徴収が困難になってきているとの意見が増えている。近修委の集約輸送を利用すれば、関東・九州方面ともに高額の割引があり、信州方面の列車にも割引がある。保護者の負担を軽減する努力は学校としても社会情勢を考えれば当然のことといえる。平成21年度集約輸送利用校は20年度より微増しており(10校増)、集約輸送の優遇措置を近修委と協力してさらにPRする必要がある。

航空機を利用した沖縄・北海道への修学旅行(近修委・近公修委)

平成20年度から、沖縄・北海道(近畿地区から)への航空機運賃が値上がりするとの情報等があったため、平成20年度の両方面への修学旅行は減少した。航空運賃については今後も引き続き検討を要する課題である。キャンセル料、最寄りの空港からの出発問題もあり、本委員会も近修委に協力することが重要である。

情報ネットの充実について（事務局 全修協）

近公修委の事務局である全修協では、情報ネットを充実するため平成19年度より内容を整理し閲覧しやすいように改善を図った。

関東、東海、近畿3地区公立中学校修学旅行委員会のすべての情報やその他修学旅行に関する情報を掲載している。今後も広範囲で修学旅行に役立つ充実した情報を掲載することができるよう努力する。

平成20年度の事業等予定（一部全修協・近修委の予定）

月	事業内容
4	20年度諸活動の準備
5	各府県委員名の確認
6	発表校への委嘱状発送（奈良県高市郡高取町立高取中学校） 各府県教委へ研究大会の後援名義使用許可願い発送（運営委員に送付） （奈良県教委へは来賓出席・指導助言者派遣依頼も） 近公修委平成20年度総会（平成20年6月27日 大阪市中央公会堂） 近修委平成20年度総会（事務局日修協 平成20年6月2日 大阪弥生会館）
7	研究大会準備等 第25回全国修学旅行研究大会 〔平成20年7月31日（木） グランドヒル市ヶ谷 会長出席〕
8	平成20年度現地研修会〔平成20年8月20～21日（水・木） 南九州方面〕
9	第1回運営委員会（研究大会・その他）（平成20年9月初旬）全修協大阪事務局 近修委委員会（集約輸送申込み等について）（平成20年8月26日） 平成20年度修学旅行実施状況調査発送
10	第2回運営委員会（研究大会）（平成20年10月初旬）全修協大阪事務局 平成20年度修学旅行実施状況調査回答回収（平成20年10月28日） 近修委集約輸送申込み締め切り（平成20年10月28日）
11	平成20年度近畿地区中学校修学旅行研究大会 開催日時 平成20年11月21日（金） 13:00～16:10 会場 奈良県生駒市コミュニティセンター 内容 ・ 研究発表 奈良県高市郡高取町立高取中学校 ・ 講演（杉田 洋氏 文部科学省教育課程課教科調査官） 修学旅行実施状況調査集計開始 修学旅行実施状況調査集計完了（予定） 近修委委員会（大阪弥生会館 11月28日 平成22年度集約輸送抽選会）
1	関東・東海・近畿3地区公立中学校修学旅行委員会連絡会代表者会 〔平成21年1月23日（金）会長出席 名古屋〕（予定）
2	第3回運営委員会（反省と次年度の行事）（平成21年2月中旬）
3	平成20年度のまとめと次年度の準備

（注） 印は近畿中学校長会修学旅行専門委員会（近修委）主催の会議